

令和4年度第3回 山県市教育委員会定例会議事録

1 日時

令和4年8月29日(月) 午前9時00分～午前11時35分

2 場所

山県市役所3階 会議室301

3 出席者

教育長 服部 和也

委員 川田 八重子 委員 堀 恵子

委員 大野 良輔 委員 千葉 純

事務局 学校教育課長 森川 勝介

生涯学習課長 藤根 勝

学校教育課課長補佐 渡瀬 和則

4 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 議事録確認者の指名

日程第3 議事

報第 1号 令和3年度山県市教育委員会決算の成果説明の報告について

承第 9号 山県市教育委員会事務局職員の任免の専決処分の報告について

議第11号 令和3年度山県市教育委員会事務事業の点検及び評価について

議第12号 山県市議会に提出する、令和4年度一般会計予算(教育予算)の補正(第3号)についての意見を市長に申し出ることについて

日程第4 諸般の報告

日程第5 その他

5 会議の概要

別添のとおり

午前9時00分 開会

日程第1 前回議事録の承認	
教育長	<議事録について説明を求める。>
学校教育課課 長補佐	<議事録について説明する。>
教育長	<議事録について各委員の意見を求める。>
教育長	<委員からの意見がないため、議事録について議決を求める。>
教育長	<全員異議なしにより、議事録について原案のとおり議決する。>
日程第2 議事録確認者の指名	
教育長	<議事録確認者に千葉委員を指名する。>
日程第3 議事	
報第1号 令和3年度山県市教育委員会決算の成果説明の報告について	
教育長	<報第1号について説明を求める。>
学校教育課課 長補佐	<報第1号について説明する。>
学校教育課長	<報第1号について要点を説明する。>
生涯学習課長	<報第1号について要点を説明する。>
教育長	<報第1号について各委員の意見を求める。>
大野委員	151ページ、エアコン設置工事がありますが、電気料金は教育委員会の予算の中に電気料金は含まれているのですか。
学校教育課課 長補佐	電気料金は、教育委員会の予算に入っています。
大野委員	144ページ、GIGAスクール用端末の保管庫の移設について説明してください。
学校教育課課 長補佐	高富中学校ですが、導入時に使用していた教室にしか設置していなかったため、新年度に学年の階が変わって学級数が変わると過不足が出るため、移設しました。
千葉委員	167ページ、大桑城趾の国の指定の見通しはどうか。
生涯学習課長	国の指定については、山の地権者の方の同意が得られていないので、根気よくお願いしていきます。同意を得られない部分を指定から外すという一案を文化庁からもいただいておりますが、重要な場所ですので含めて指定したいところです。

千葉委員	地権者の方の一番の懸念は、指定されると自由にさわれないというところですか。
生涯学習課長	そのとおりです。
教育長	<ほかに委員からの意見がないため、報第1号について終了する。>
議第11号	令和3年度山県市教育委員会事務事業の点検及び評価について
教育長	<議第11号について説明を求める。>
学校教育課課長補佐	<議第11号について説明する。>
学校教育課長	<議第11号について要点を説明する。>
生涯学習課長	<議第11号について要点を説明する。>
教育長	<議第11号について各委員の意見を求める。>
堀委員	C評価となっている22ページの36、24ページの45について説明してください。
学校教育課長	36のSOSの出し方教室は、7校で実施しましたが、2校はほかの学校行事との都合で実施できませんでした。45の優秀教員エクセレントティーチャーによる授業公開は、コロナの影響で外部の方を招くことができませんでした。以上の理由でC評価としています。
大野委員	11ページの8、大変いい企画だと思います。子どもたちは、学校を離れているいろんなことを教えてもらったり、地域のことがかわったりすることは、すごくよかったと口をそろえて言っていました。そんな子どもたちの意見を最優先して、今後、判断をしていただきたいと思っています。
生涯学習課長	地域部活動への移行を見越し、市がひとつになってクラブを運営していくということで、「チーム ヤマガタ スポーツクラブ」に名称を変更し、現状、「高富スポーツクラブ」という名称は一切使っていません。
川田委員	23ページの39、部活動の地域移行ですが、TSCで全部の部活動ができるようにするのですか。
教育長	他の自治体は、部活動が地域移行することによって部活動数を維持するか減らそうと考えているようですが、私は増やそうと考えています。今は部活動のない、将棋とかダンスとか、子どもたちがやりたいと思う部活動を増やしてあげられなければ、地域へ移行する意味がないと思います。運動部ならTSC、文化部ならやまがた子ども文化クラブと、長い歴史のある団体が受皿として想定できます。

堀委員	基準を作ればいいのですね。
教育長	そうです。どこでもいいとはいえ、部活動なので、体罰の禁止とか責任の所在とか、そういう整理は必要です。
千葉委員	19ページの29、30、31は、A評価でもいいと思います。地域部活動への移行について、他の自治体の情報はありますか。
教育長	本市の合同部活動のようにひとつの中学校に集め、少しずつ地域へ移行しようとする市、地域ごとに総合型のクラブを作ろうとしている市があります。
千葉委員	本市はT S Cの実績があるので、現状では進んでいる感じですね。
教育長	本市は、水曜日に市全体で合同部活動を行い、小学校の教員が指導をするなんて画期的なことで、全国的にも進んでいると思います。
千葉委員	運動系は難しいかもしれませんが、文化系の部活動で大人と交流する場面があると、お互いの刺激になっていいかと思います。
堀委員	その団体の活動が部活動と指定されて予算が付けば、活性化できていいですね。
教育長	<ほかに委員からの意見がないため、議第11号について議決を求める。>
教育長	<全員異議なしにより、議第11号について原案のとおり議決する。>
承第9号 議第12号	山県市教育委員会事務局職員の任免の専決処分の報告について 山県市議会に提出する、令和4年度一般会計予算（教育予算）の補正（第3号）についての意見を市長に申し出ることについて
<非公開案件であるため、議事録は別途作成>	
日程第4 諸般の報告	
学校教育課長	4月の全国学力学習状況調査の結果を報告します。小学6年生の国語が全国平均、県平均に比べてやや正答率が低く、算数と理科は全国平均よりもやや低い県平均とほぼ同程度の正答率となりました。 中学3年生は、県平均が全国平均よりもかなり高く、本市は、国語、数学、理科すべての教科で県平均を上回っています。 令和2年度は実施されませんでした。令和元年、3年度、4年度と、徐々に正答率が上がってきています。
生涯学習課長	8月20日、本市と下呂市と御嵩町合同のF C岐阜ホームタウンデーでしたが、前半途中で雷雨により中止となりました。サッカー少年

	<p>団が競技場のピッチでミニゲームができ、子どもたちは非常に喜んでいました。</p> <p>8月23日、作家、僧侶である家田荘子さんを講師にお招きし、人権教育講演会を開催しました。観客は約200人弱で、非常に盛大に開催できました。</p> <p>8月27日、四国山香りの森公園で株式会社ヒマラヤに委託して子ども運動遊び応援事業「ワイルド・ウォーター・ラン」を開催し、午前と午後、合わせて約100人の子どもの参加がありました。</p> <p>今日から12月の初旬ぐらいまで、大桑城の発掘調査を晴れた日はほぼ毎日行います。</p>
教育長	<p>今後、学校適正規模等検討委員会の答申が出た後、教育委員会として推進計画を策定しなければならないので、先日の羽島市立桑原学園と岐阜市立厚見学園の視察についてまとめたいと思います。</p>
大野委員	<p>どちらの学校も本市の状況とは異なる気がしました。本市は、現状を変えようとするところから検討しているのに対し、視察先は、地域から声が上がって変えたわけではないということでした。行政として勢いで変えた方が楽な場合もあるけれど、今のようにどうするか検討することの方が、本市にとってはいいことだと思います。</p> <p>小中学校が隣同士なら義務教育学校を作りやすいと思いますが、例えば伊自良南北小と中学校を一緒にするのなら、中学校の場所に集約しないと、かえって非常に不便じゃないかなと思います。美山も同じです。だから、どちらの学園のかたちも合わないので、本市独自の計画を立てるべきだと思います。学校現場でいろいろ考えるのは難しいと思いますので、ある程度、行政が案を提示しないといけないと思います。</p>
千葉委員	<p>義務教育学校のかたちの方が面白いとは思いますが、学校が隣同士にあるからやりやすいってところがあるので、本市では学校が離れているのでいろいろな課題があるというか、難しいと思います。</p>
川田委員	<p>本市は校舎を1箇所を集約することは難しいと思いますので、義務教育学校は難しいと思います。教科担任制の効果はあるということでしたが、小中学校が離れていると教員の移動が大変なので、本市独自のかたちにしたほうがいいと思いました。</p>
堀委員	<p>小中一貫校は、校長先生が1人で教育方針は一貫しているけれど、既存の小中学校が隣り合っていたとしても、交流することは簡単では</p>

	<p>ない感じがしました。独自のことがいろいろできるのは、義務教育学校だと思いました。義務教育学校のシステムを取り入れたほうが柔軟性はあると思いますが、やはり距離があるから、与えられた教員数と資源を工夫して活用しないとできないと思います。</p>
大野委員	<p>放課後児童クラブの子どもたちを見ていると、2年生から3年生、4年生から5年生になるときに大きく意識が変化しているので、当たり前前に思っている1年生から6年生の集団を分割し一部中学校へ持っていくとか、そういう視点があってもいいのかなと思います。そうすれば、小学校高学年が中学校へ上がるときに、うまくいける可能性はあるし、小学校では、低学年、中学年を集中的に指導できると思います。</p>
教育長	<p>9年間で子どもを見ようとする小中一貫校には意味があると思います。本市に取り入れようとしたときに、6・3制とは別の分け方の議論があってもいいと思います。</p> <p>教科担任制は、学力ははっきりと伸びると思いますが、中学校の教師が小学校へ行くスタイルは教員の負荷が大きいのので、教師ではなく子どもを動かすことでも教科担任制は成り立ちます。ただし、6年生が1年間通して小学校からいなくなるということが受け入れられるかという問題があります。</p> <p>整理すると、小中一貫教育の仕組みは、子どもを9年間見ることに意味はあるが、視察した2校のかたちがそのまま本市に合うかどうかはもっと検討しなくてはいけない、ということでしょうか。</p>

午前11時35分 閉会